

担い手の経営のライフステージに応じた支援

1. 次世代農業者農業育成支援

(1) 「新規就農者の育成について」

JAしおのや（栃木県）

新規	継続
	○
	(平成 25 年 4 月)

1 動機 (経緯)	農家人口の高齢化等の問題を解決させるため、農園運営の中で、新規就農者を研修生として受け入れ、後継者育成（将来の組合員育成）を目的とした株式会社を設立しました。
2 概要	1. 研修期間:1 年間（但し、希望に応じ 1 年間延長可能）。 2. 募集人数:10 人／年。 3. 手当：1 人 10 万円／月。 ※費用は、JA と各市町（就農予定地）で負担します。 4. 研修内容： ・農場での実習（施設野菜及び露地野菜）を通じ、栽培技術の習得を図る。 ・栽培学習、税務・経営管理・資金管理等のカリキュラムを作成し、座学の対応も図り、将来独立した経営に必要な知識を習得できます。 ・研修期間中に認定新規就農者及び農業次世代人材投資事業（経営開始型）の申請に係る計画書の作成に携わり、将来的に無利子資金の活用や、就農準備に係る費用圧縮に努めています。 5. その他 ・食と農と地域と自然の関わりを重視し、農産物がいのちを育み、成長していく過程を「農業体験」「農の交流」を通じ、子供たちの食への関心・興味を高揚し、食の大切さ、食を支える農の役割、いのちと健康の尊さなどに対する理解を広げ、深めることを目的に食農教育事業の場としても提供していきます。
3 成果 (効果)	平成 28 年度（就農研修 4 期）は研修生 6 名の受入を行い、うち 5 名（耕種：1 名、アスパラガス：1 名、いちご：1 名、直売所向け多品目野菜：2 名）が就農し、1 名は継続研修中です。
4 今後の予定（課題）	すでに就農した研修生もおり、制度資金の活用を希望している研修生への対応を積極的にサポートしていきます。